

1998年(平成10年)11月
第 13 (号)この子等の幸せを考える親の会
榎の木グループ

事務局

〒494-0018 尾西市富田字漆畑16番地

TER/FAX : 0586-61-6055

編集責任者: 広報・研修事業部

きぼう

(仮称) 榎の木寮 建設工事

起工式 おこなわれる

知的障害をもつ皆さんのための生活施設が正式着工の運びとなり、さる10月8日、尾西市長様はじめ多くの来賓及び親の会の委員等関係者の参加の下、起工式が行われました。

精神薄弱者更生施設(入所)榎の木寮(仮称)の建設は、尾張西部では一宮市いずみ福祉園に次ぐ二番目の生活施設で、地域の親の会や関係者の長年の待望のものでした。尾西市より土地の無償貸与を受け、建設募金には2400名の方々からのご支援をいただき、ありがとうございました。

建物は、生活棟(4階建て)と作業棟(平屋)の2棟からなり、延べ面積1918㎡で、定員50名、ショートステイ5名の規模の立派なもの。平成12年3月竣工目指し、同年4月開所予定。

この施設が、地域の福祉の拠点となるように、引き続きご指導とご協力のほどお願いいたします。



10月8日、起工式行われる

(2)

親の会報

榿の木コナ

無題

榿の木園の利用者の方で、朝の場面転換をご一緒したときに思ったことについて少しお話しいたします。その前に、場面転換という聞き慣れぬ言葉の意味をご説明しますと、そもそも通常の大人の生活のリズムというのは大まかに考えますと、[自分の家-職場-自分の家]というふうな場面の移動の図式であると見做すことができるとおもいますが、このことは、自分の家ではリラックスをし、職場では緊張するということで、つまりわたくしたちは毎日大きなリラックスと緊張との波の中で生活をしている、ということになります。従いまして、榿の木園の皆さんの場合におきましても同じように[自宅]はリラックスするべき場所でありまして、方や[榿の木園]はというと緊張するべき場所であります。しかしながら、榿の木作業所や榿の木園、榿の木小規模作業所を利用して見える方達の中には、夫々の利用施設に通って来ることがとても楽しみである、というわたくしたち施設職員にとってみれば大変奇特と申しますか、とても有り難いと思わなければならない方達も多くお見えになります。それは、その方の[自宅]が緊張する場所である、ということではなくて、むしろ榿の木の各施設がその方にとって心地よい緊張と申しますか、何か期待感のある気持ちの張りともいえるべき場所である、ということなのでしょう。さてこのように申し上げてゆきますとおおかたのことはご推察できるかと思いますが、リラックスと緊張の各場面の移動のことを場面転換と申します。

では、お話を一番最初に戻しますが、その場面転換の折に、その彼の地面の砂や土を触っている姿を必ずお見掛けします。砂や土を片手で上手につまみ、ひょいと跳ね上げ、同じ手のひらで受けとめ、さらにそれを指の腹のところでごすり付けたり、もう片方の手の指でごすったり叩いたり、手のひら同志で強くごすったりしているこれらの一連の動きは、ただ単にそのことが好きであるとか、そのことを楽しみにしているというよりも、砂というものの感じそのもの、その砂が手のひらに作用し、それを通して感じ取る自分の手のひらの感覚、そういった物と躰の分かちがたい交渉ともいえるべき作業として見る事ができませんでしょうか。同じ砂や土であっても、花



樫の木コーナー

や植木の好きな人にとってのそれは植物を育てる上で必要な養分を含んだ土壌であり、また土木建築家にとっては堤防や建物の基礎を築るための大切な資財であり、陶芸家にとっては芸術作品を作り上げるための素材であります。言うなれば、人はその個人の職業、社会的な立場、その人の生活のスタイル、趣味等によって物を見る見方と言いますか、その人自身にとっての物の意味というものが多種多様であるところ申せましょう。けれども、わたくしたちがかように物の意味を自分の生活のスタイルに適った見方で見てゆくことが出来るというのも、その物（この場合は土や砂）の意味をさまざまな側面から経験的に学習してゆく必要があります、而もそういった意味の習得には段階的な学習、すなわちその物との出会いの端緒つまりその物に対する眼差し、触ったときの手の感触、手で操作し物がいろいろな形に見えたり、変化したりしたときの印象、そしてこれらの情報のある方向にまとめ上げてゆく知的作業等がとても大切なのです。彼は、こうした経験的な学習の一番最初の取り掛かりの段階、すなわちこの砂や土との最初の出会いの段階にあって、人が自然と初めて出会ったときの驚きと、次にそれを何とか手に入れようとする感情のようなものが動機づけとなってその物と交渉してゆく、そういう作業を一所懸命やっているというふう

に思えてなりません。

けだし、わたくしたちが言葉や知識、経済力や社会的な力を駆使して自然や人のあらゆる知識をを手に入れ、支配してきたと思いついでいるまさしく奢りとみるべき姿、そして、自分たちの処理能力をはるかに凌駕した情報量、目まぐるしく変化しその瞬時の判断処理を求められる状況、利害関係に墮し、利那的なエロスを求めようとする人間関係、そういった社会の側面を垣間見るとき、人が遙か遠く過去に置き去りにしてしまった自然との対話、人が人を思いやる素朴さ、言うなればこの原点のようなものにもう一度立ち戻り、心を自然に開き、実際に自分の躰を用いて交渉すること、このことの大切さを痛感せずにはられません。（樫の木職員）



(8)

レクリエーション事業部

親子遠足に参加して

9月6日(日)、親子遠足のぶどう狩り(長良川)に参加させていただきました。当日は、天気ははっきりしない朝となりました。

檜の木作業所に集合し、参加者が各自お昼の弁当を持ち、マイクロバス4台に乗り込み、出発時は雨となってしまいました。

途中は大雨となり心配したが、休憩時は小降りとなってほっとしました。ぶどう園に着いて、2班に分かれ、小雨の中、足元の悪いビニールハウスで、食べれるだけの房を取り、もぎたてを食べることになったが、いざ食べてみると、たくさんは食べれなかった。

帰りは岐阜公園散策の予定が雨のため中止となり、早く帰ることとなった。

しかし、この経験も楽しい思い出となりました。

職員の皆様および参加者の方々ご苦労さんでした。



ぶどう狩り

楽しい陶芸教室

レクリエーション事業部では、7、8、9月と続けて3回の陶芸教室を開きました。花器や人形等と作品もりっぱになり、葉かけや窯出しがとても楽しみ。と言いますのも、渡辺、仲井両先生のご指導のたまもの。大作を我が趣味として持ち帰る人や、バザー出品にとさまざま。いつも参加して頂いている陶順会のみなさんからは、銘々皿や箸置き等をたくさん作っていただき、尾西まつりのバザーに出品させていただきました。

来年度の陶芸教室、どなたも参加出来ます、乞うご期待!



陶芸教室、銘々皿に絵柄を入れる参加者

物資販売のお礼と 今後ともよろしくお願い致します

夏の物資販売もおかげさまで、前回と同程度の収益(¥307,838)を上げることができました。これも会員の皆様をはじめとして、地域の方々のご理解とあたたかいご支援の賜と感謝しております。ありがとうございました。

さて、もう冬の物資販売のご案内の時期となってしまいました。今回は、ユニオンサービスと味よしの商品にくわえ、低農薬のりんご、みかん、そしてお歳暮用に新巻鮭も用意いたしました。

10月下旬より注文を受け付けたいと思います。御入り用の方は、櫻の木作業所(担当 奥田 Ⅸ61-6055)または、親の会会員までお知らせ下さい。

【バザー売上報告】

| | | |
|---------|-----------|----------|
| 5/15~17 | ウェルフェア'98 | 13,459円 |
| 6/9~11 | 金山バザー | 12,815円 |
| 8/10 | 櫻の木盆踊り大会 | 109,461円 |
| 8/29 | 豊田合成バザー | 10,820円 |
| 10/10 | 祖父江産業まつり | 80,810円 |

各販売先の皆様、ありがとうございました。

【バザー今後の予定】

| | |
|----------|-------------|
| 11/23 | コスモス祭り |
| 11/28・29 | 一宮福祉とボランティア |
| 12/6 | ときわ作業所バザー |



ボランティアさん募集

月一回の手芸製作会に、参加して頂けるボランティアさんを募集しています。都合のつく時間帯のみでも結構です。参加してみようかなと思われる方は、ご連絡下さい。(担当 小塚 Ⅸ0586-69-3445)

| | | |
|-----|--------------|--------------|
| 日時 | 12月 2日(水) | 午前9時30分~午後3時 |
| 場所 | 尾西市南部公民館 | |
| 内容 | うさぎの置物(予定)など | |
| 持ち物 | 裁縫道具 | |

ご参加、お待ちしております。

尾西祭りに出店

尾西文化会館では、福祉作品展示即売会が行われ、親の会のコーナーでは手芸品が大盛況。クリスマス用品のリングや色付けしたまつぼっくりの袋詰め、手編みのベストやセーター、袋物など。特に初日はまたたくまに買って頂き、その忙しさはうれしい悲鳴。檜の木コーナーでは陶芸品や木工品など。木工品には「ネイムを入れて!」と特別注文がありました。

農協駐車場では、マット、茶わん、靴下など販売し、道路添いでは、恒例の金魚すくい、綿菓子、くじ引きなど。「去年買った金魚まだ生きてるよ。」と目を輝かせて伝えてくれる人もありました。ここでは小中学生やファミリーが大にぎわい。又来年もよろしくね。



10月24・25日の尾西祭りの光景

二 今後の主な行事予定 二

- | | |
|----------------|----------------|
| 11月10日(火) | 料理教室 |
| 11月22日(日) | 福祉フェスティバル尾西 |
| 11月23日(月) | コスモス祭り |
| 11月28・29日(土・日) | 一宮福祉とボランティア活動展 |
| 12月6日(日) | ときわ作業所バザー |
| 12月15日(火) | しめなわ作り |
| 12月20日(日) | もちつき大会 |

檜の木グループ

社会福祉法人 檜の木 福祉会

檜の木作業所 ☎ 61-6055

檜の木園 ☎ 62-8202

檜の木小規模作業所 ☎ 69-6780

この子等の幸せを考える親の会

〒494-0018

事務局 愛知県尾西市富田字彦畑16番地

檜の木作業所内

TEL・FAX 0586-61-6055

